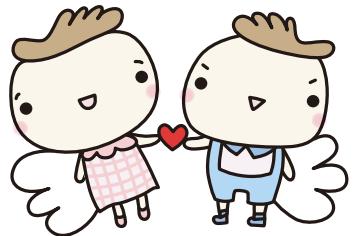


てとて  
tetate



写真：令和元年度合同説明会

今年4月に行った合同説明会。各地域で「ご近助活動」についての説明と今後の取り組みについて意見交換を熱心にしていただきました。

長時間にわたり、ご参加していただいた皆さん、ありがとうございました。

**特集 『馴染みの地域で暮らし続けるために』**

**連載 『地域の宝物、再発見！』**

# 特集

## 「地域密着型サービスにできるために」 くじ地域密着型サービスにできるために

「住み慣れた地域で暮らし続けたい」誰もがこんな思いを抱かれるのではないでしょか。

このような思いに応えるため、地域密着型サービス事業所では、地域の特性や事情に即して、地域住民との馴染みの関係を築きながら、きめ細やかで柔軟なサービスを提供しています。今回、市内の地域密着型サービス事業所に、ご利用者が地域とつながりをもち、生活を続けるための取り組みをお聞きしましたので、ご紹介します。

### 地域交流活動

社会福祉法人ひだまり ほつとひだまり

(小規模多機能型居宅介護)

取り組みを始めたきっかけ

ひだまりを知つてもううため、地域に出向くことを続けました。その中で、地域の方より、イベントにお呼びいただけるようになつたのがスタートです。以降は、つながりを大切に職員だけでなくご利用者も含めた交流を続けています。

具体的な取り組み内容

地域の行事に出向いて交流の機会を確保しています。小学校の運動会の見学に行き、親御さんと一緒に応援したり、上丹生のチューリップ祭りでは、チューリップを皆で植えたり、地域

の夏祭りに参加して地域の方と一緒に祭りを楽しんでいます。

取り組みをしてよかつたこと

介護事業所などどうしても閉鎖的なイメージがありましたが、行事に参加し、ふれあい、交流する機会をもつことで、施設のイメージが開放的な明るいイメージに変わり、気軽に入ってもらえる事業所になりました。

今後の展望

今後は、地域とご利用者だけではなく、そこにご家族も含めた交流をすすめたいこうと考えています。その中で、事業所の持つ知識や情報を提供し、皆さまの生活に少しでも役立ててもらいたいと思っています。



### 今後の展望

今後も、ご利用者の役割として続けていきます。そして多くの人に見てもらうことで、認知症を患つてもいろいろなことができるということを知つてもらい、福祉に対する理解が深まる

きつかけになればと思っています。

### 居場所づくりと災害対策

特定非営利活動法人いきいきおうみみんなの家

(認知症対応型通所介護)

取り組みを始めたきっかけ

ご利用者の特技、趣味が日常生活の中で、活動いただけるように取り組んでいます。その中

でただ作品を作るのではなく、形にして、地域や皆さんとのつながりに生かせないかと考え、始めました。

具体的な取り組み内容

ご利用者の作品を定期的に文化祭等で展示してもらっています。また地域のお地蔵さんの前掛けを作つて実際に使つていただいています。また、こちらから提供するだけでなく、実際にその場を見に行き、自分たちの作品を見て、次の意欲にも繋げています。

取り組みをしてよかつたこと

ご利用者の意欲が向上しただけでなく、作品として人目につき、事業所の知名度が上がりました。また活動を通じ、地域や外部とのかかわりが多くなり、地域等からその道の先生やボランティアの方々とのつながりと共に、より完成度の高い作品ができるように、また地域や外部とのつながりも多くなりました。

ながら、事業所と地域の方と協力し合うことが大切と感じ、合同で避難訓練を始めました。

### 具体的な取り組み内容

事業所としてご利用者へのケアだけでなく、地域にお住まいの高齢者の安心安全な居場所として事業所を常時開放しています。また毎月サロン事業を開催し、その中でサービスご利用者とサロン参加者が協力して様々な災害を想定した避難訓練を行っています。

### 取り組みをしてよかつたこと

多くの方々に来所いただき、その中で、参加者の心身状況を把握し、必要時は早期対応ができるのです。またご利用者と接することでも、認知症を学ぶ機会となり、認知症に対する理解にもつながっています。さらに、避難訓練では車椅子等を体験してもらう機会となっています。

今後の展望

地域の集まり場として事業を継続していくままです。また現在はサロンの一環として、避難訓練を実施していますが、今後は自治会との協力体制を築き、一体的な避難訓練にしていきたいと考えています。そして事業所自体を地域の社会資源として活用いただきたいと思います。



## 買い物支援

社会福祉法人米原市社会福祉協議会  
北部デイサービスセンター「きたで～」  
(地域密着型通所介護)

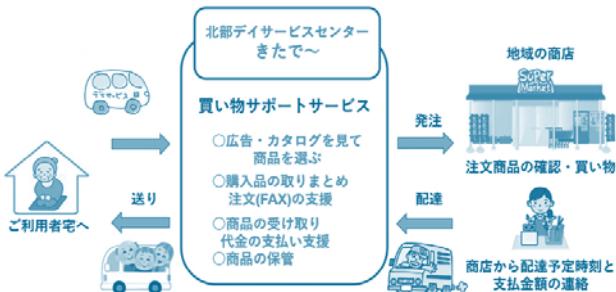
### 取り組みを始めたきっかけ

事業所のある伊吹地域は、交通手段が不便で、「車がないと買い物に行けない」「近くに商店がない」といった声が多く聞かれ、特に一人暮らし高齢者や高齢者世帯の方々は生活に不便を感じておられます。ご利用者やご家族、地域住民などが参加する運営推進会議においても「自宅で安心して暮らし続けるためには、暮らしの困りごとにに対する支援が必要」との意見もあり、今回買い物への支援に取り組もうと考えました。

### 具体的な取り組み内容

まず始めたのが平和堂ホーム・サポートサービスを利用した取り組みです。週1回デイサービスに来られた後、職員と一緒に商品の注文や支払いを行い、購入された商品は送迎時に一緒に持ち帰っています。

### 買い物サポートサービスの流れ



生活に必要な食品や日用品の確保ができ、ご自身の欲しいものを自分で選び購入できる喜びを感じていただいています。

「家族もいるでみんなの分も買いたいんや」とお話ししてくださる方もおられ、買い物を通じてご利用者の生きがいにもつながっていると感じています。

### 今後の展望

ホーム・サポートサービスの利用を増やしていくことはもちろんのこと、今後は、地域の課題や困りごとに事業所として柔軟に対応できるよう、様々な機関や分野、地域の活動者等と連携しながら取り組んでいきたいと思います。

### おわりに：

地域密着型サービスとは、高齢者が住み慣れた地域で尊厳を持って暮らし続けられるよう支援する介護サービスです。市内の各事業所では、日々のサービスを通して、ご利用者一人ひとりの思いや地域の課題を把握し、解決に向けた様々な取り組みを進めています。ご利用者の暮らしが身近な地域にあるからこそ、暮らし全体を捉えた関わりが求められ、地域と連携協力していくことで、より安心した暮らしが実現できるのだと感じました。



連載

# 地域の宝物 再発見！

「宝物」とは地域の支え合いやつながりを深めていること。しかし、普段あまり意識していないので、その大切さに気づいていません。

そこでみなさんの地域へ伺い、地域の宝物を一緒に探し、再発見ていきたいと思います。



いこいカフェの  
コーヒー  
もちろん  
大清水の名水で。



福祉委員の皆様。大清水名水音頭を広めたい。  
左から望月祥子さん、宮川政義さん、高木康子さん、宮川智江子さん

今回の宝物探しは、大清水にお話を伺いにいきました。大清水は、毎週月曜日のお茶飲みカフェ「いこいカフェ」、毎週月曜日の和室でおしゃべり「まままサロン」として毎月第三火曜日のサロン「いこいの広場」という三種類の居場所があり福祉活動が活発です。

今回、月曜日のいこいカフェで「コーヒーをいただきながら、カフェに来られている方々へ「大清水の宝物はなんですか?」とお聞きしました。皆さん「湧き水」と口をそろえて話をされました。大清水の湧き水は、名水百選にも選ばれた湧水(ゆうすい)で有名な

大清水は、毎週月曜日のお茶飲み会  
フェ「いこいカフェ」、毎週月曜日の  
和室でおしゃべり「まままサロン」、  
そして毎月第三火曜日のサロン「いこ  
いの広場」という三種類の居場所があ  
り福祉活動が活発です。

泉神社があり、その名水を生活用水として、みんなが大切に使っていた経過

から、みんなで協力する文化が息づいたのかもしれません。

その中で、福祉委員の皆さんより「いまね、大清水名水音頭に踊りの振り付けをつけたのよ」と楽しそうにお話しされました。どうやら大清水名水音頭というものが合併前の伊吹町だつ

た平成十七年頃までにあり、それを掘して盛り上げようとされているのだとか。

また、十年以上前から名水でまちおこしをと「湧湧（わくわく）祭」という夏祭りを続けてこられてきました「大清水名水音頭をサロンで体操代わりにお年寄りと踊つて元気になりたいと思って」と福祉委員の皆さん。これから名水で新たなワクワクとつながりをつくる取り組みがはじまる兆しを感じて帰ってきたのでした。

大清水名水音頭  
作詞・作曲 児玉和子  
《前奏》(一六)間休み・(トントンガトーン)右足から4歩・流し手4回  
両手開いて(トントンガトーン)  
夏は 冷たく  
おいしくて  
冬は 暖か  
不思議な水さ  
日本名水百選の  
誉: 名高い  
この町へ  
さあさ おいでよ  
名水の郷  
ここは 大清水  
名水音頭  
(お月さん)  
両手開いて足を引く(トントンガトーン)  
右足から3歩  
両手の中へ両手で招く  
円の外へ右足出す  
左足出す  
右足上げ左手胸 左手上げ右手胸。  
交互に繰り返す。右足から自分回り4回  
左足出す  
右足ながらめる(交互繰り返す)  
左足出す  
円の中へ両手で招く  
うわわであおぎながら右足から3歩  
右回り  
右足が出る。両手ふさで開ける。右足引く  
左足が出る。両手ふさで開ける。左足引く  
進行方向に右左左 両手流す  
(3回進む)

## 大清水名水音頭の振り付け原稿

# 米原地域 下丹生自治会の宝物

## ～人と人とがつながる場所を大切に～



麻雀を楽しむ田中さん

それは、下丹生に住む“人”。  
「下丹生の宝物はなんですか？」と尋ねると、まず出でたのが「元気なお年寄り」という声。この日はお茶の間クラブをされているところにお邪魔させてもらい、話を伺つたのですが、来られている方のほとんどが八十代以上のお高齢者の方で、みなさん本当に元気で和氣あいあいと楽しい雰囲気で過ごされていました。その中でも最高齢九十五歳の田中さんに元気に長生きをする秘訣をお聞きしたところ、「ここに来て、麻雀をすることかな。麻雀

をすることで、指も頭も使うし、一番良いのは他の人とこうしてしゃべりながらできること」と話してくださいました。

他の方からも「隣近所が仲良し。昔からある“お醤油貸して”を今でもしてるで」、「子どもは少なくなつたけど、子どもの声を聞くとほつとする」：下丹生では運動会やお祭り、お茶の間クラブ、サロン、グランドゴルフなど、子どもから高齢者までが集まる場がたくさんあり、それを続けていく



テーブルを囲み、楽しくお話しされました

ことを大切にされています。  
人とつながる場、また、そこに集まる人たちが下丹生の宝物であり、これからも大切にしていきたいと下丹生のみなさんの温かいお言葉から感じることができ、心温まる気持ちになりました。



お話を伺いしたお茶の間クラブの皆さん

# 近江地域 能登瀬自治会の宝物

～ふれあいは地域の絆を深める～

そんな中、副自治会長の宮野さんから、「毎年行っている『ふれあいの日』は多くの人が集まる能登瀬でも大きな行事。その名の通りに能登瀬の誰もがふれあう大切な宝物ではないか」と話してくださいました。

ふれあいの日は組ごとに分かれ、運

自治会長や福祉推進員、ボランティアの皆さんへ能登瀬の宝物についてお話を伺いました。

お話の中で、伝統伝承事業の奉納相撲大会や武家奴振り、神事の雅楽やお稚児さん、息長源氏笛を守る活動などたくさん行事の話をしてくださいました。



今回取材をさせていただいた皆さん



競いながらも防災の意識を高める



子どもから大人までみんなでたのしむ。  
これが絆を深める第一歩

動会と防災訓練を行います。また、8つある組それぞれで持っているテントを立て、組ごとに分かれて食事をとるそうです。中にはバーベキューをする組やお弁当をとる組など様々。

自治会長の木田さんは「みんなが集まるふれあいの日に命を守ることにつながる防災訓練を合わせて行うことで、つながりを深めるきっかけにしている」と話をしてくださいました。福祉推進員の河居さんは、「以前ふれあいの日が何年か中断した時がありました。しかし、また復活し続けてこられてい



様々な行事でつながりを深めます

るのはとても大事なこと。準備など負担もあるが、新しい世帯が来られてふれあいの日で出会い、おしゃべりし仲良くなつたと聞いている。振り返ってみると地域の絆を深めているのでは感じる」と話してくださいました。

能登瀬自治会として長年つづく「ふれあいの日」。皆さんも毎年恒例の行事として定着されていますが、振り返ることで、地域の方々のつながりや助け合いの心を育む大切な宝物になつていることを感じました。

# 山東地域 小田自治会の宝物

## ～悠久・樂習の里づくり、 先人から引き継がれていく思い～

今日は、自治会長・民生委員児童委員・福祉協力員を始め、ほんわかサロンに参加されている皆さんから小田の宝物についてお話を伺いました。

「小田」ってどのように読むか皆さんはご存知でしょうか。この地は柳などが生い茂る温潤地の中に開墾した場所です。一説によると、魚を捕まえるための梁が田の近くに仕掛けられていたところから、「梁田（やないだ）」と書いていましたが、古い記録書の「梁」の上部分をネズミがかじつてしまつたため、下部分の「小」だけが残ったようです。かつては北国脇往還でにぎわいを見せ、神社やお寺などの文化遺産も多くあり、先人から続く歴史深いまちであることに皆さん誇りを

悠久・樂習の郷づくり

…やさしく・ながよく・いつまでも・だれもが…



滋賀県守山市山東町・小田・創意と工夫のまちづくり計画書  
平成7年2月

地域住民全員の思いが込められた  
まちづくり計画

感じておられます。



ほんわかサロンの様子  
参加者の皆さんからお話を伺いました

小田では、平成六年に住みよいまちづくりを目指してまちづくり委員会を発足し、子どもから高齢者まで地域住民全員が参加し、一年をかけてまちづくり計画を策定されました。「悠久・樂習の郷づくり」を目指して、誰もがのんびりと、静かに生活できる、息の

長いまちづくりをという思いは現在に至るまで、形を変えながら引き継がれています。現在は、まちづくり部会に名前を変え、環境部会、ふれあい・文化部会に分かれて活動を行っています。地域住民全員が参加し、皆で協力しながらまちづくりをすすめていく姿勢は変わりません。

赤ちゃんからお年寄りまでだれもがやさしくふれあい、なかよく、いつもでも、だれもが楽しく生活のできるまちへ・・・。その思いこそ、小田の宝物としてこれからも大切に引き継がれていくことを感じました。



環境部会で世話をしているふれあい花壇  
色とりどりのパンジーがきれいです

# 原市社会福祉協議会事業計画

活動の強化に取り組みます。  
あるニーズに対する事業やサービスの実施を行います。  
めます。

## Ⅱ 暮らしを守る活動を広げる

☆子どもから高齢者まで一人一人に寄り添います

### 権利擁護

- ・権利擁護センター  
相談、啓発活動  
申立支援
- ・地域福祉権利擁護事業
- ・法人後見 等

### 生活支援

【制度内サービス】（※事業所数）

- ・介護保険事業  
デイ通常規模(3)、デイ地域密着(5)、  
小規模多機能(1)、ヘルパー(2)、ケアマネ(1)
- ・介護予防事業  
通所型(3)、買い物生活リハビリ事業 など
- ・障がい者福祉サービス  
障がい者相談支援センターほたる  
ヘルパー(2)、ほおづき作業所 等

【制度外サービス】

- ・ふれあいよりそい事業
- ・緊急時預かりサービス
- ・地域生活応援事業
- ・一時援護資金貸付事業
- ・フードバンク 等

【委託事業】

- ・生活困窮者自立支援事業
- ・外出支援
- ・放課後児童クラブ 等



合います  
会単位) の推進  
事者団体の支援  
ート・センター  
センター 等

強化

部チェック

及  
度  
ジェクト会議) 等

# 令和元年度社会福祉法人米原

【基本方針】『つながりで地域の暮らしを支える』

【推進方針】1) つながりを広げ深めるネットワーク

2) 充足されないニーズ、制度の狭間に

3) 人材育成と魅力ある職場づくりを進

## I 顔の見えるつながりを深める

### ☆福祉のこころを育みます

- ・広報・情報発信
- ・社会福祉大会
- ・福祉学習
- ・子育て講演会 等

### ☆地域や人のつながりを深めます

- ・子育てサークル育成支援
- ・遊びの広場 等

### ☆身近な地域で支え合

- ・ご近所活動（自治会）
- ・福祉活動団体、当社
- ・ファミリー・サポート
- ・災害ボランティア

## III 助け合い、支え合うひとを育む

### ☆地域の担い手を育みます

- ・ボランティアセンター
- ・認知症サポーター養成 等

### ☆福祉人財を育みます

- ・福祉専門職養成のための実習受け入れ
- ・介護職員初任者研修 等



## IV みんながつながるまちをつくる

### ☆つながる仕組みを強化します

- ・地域カルテ
- ・地域支え合いセンター
- ・社会福祉法人協議会 等

## V 推進体制の充実・強化

- ・情報公開、法人内
- ・財政の健全化
- ・会員会費制度の普
- ・人材育成、研修制
- ・法人内連携（プロ

# 第2次まいばら福祉のまちづくり計画ができました

みんなが協力して支え合うことで、解決できる暮らしの困りごとはたくさんあります。こうして安心して暮らせる地域をみんなでつくっていくための計画です。

## この計画が目指すまちの姿

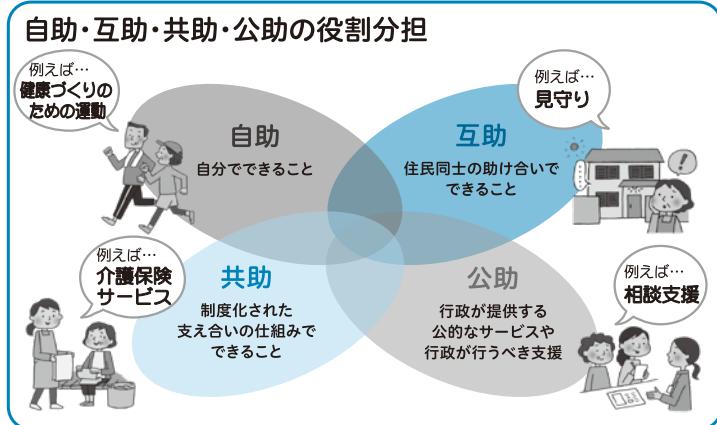
### 自分らしく 心豊かに 安心して暮らせるまち まいばら

～みんなでつくる つながりと支え合いのある まちを めざして～

米原市に関わるみんなが一体となって、互いにつながり、支え合いながら、誰もが自身の心を豊かにするとともに、人を思いやる豊かな心を持ち、いつまでも健やかに自分らしく、安心して暮らせるまちを目指します。

#### ○福祉のまちづくりに向けた目標・取組

計画では、地域の様々な困りごとを、家族や友人、近隣住民、事業所や行政など、それぞれが役割を分担し、福祉のまちづくりを進めていきます。



#### 基本目標Ⅰ 顔の見えるつながりを深める

- (1) 福祉のこころを育みます
- (2) 地域や人のつながりを深めます



#### 基本目標Ⅱ 暮らしを守る活動を広げる

- (1) 子どもから高齢者まで一人一人に寄り添います
- (2) 身近な地域で支え合います

#### 基本目標Ⅲ 助け合い、支え合うひとを育む

- (1) 地域の担い手を育みます
- (2) 福祉人財を育みます

#### 基本目標Ⅳ みんながつながるまちをつくる

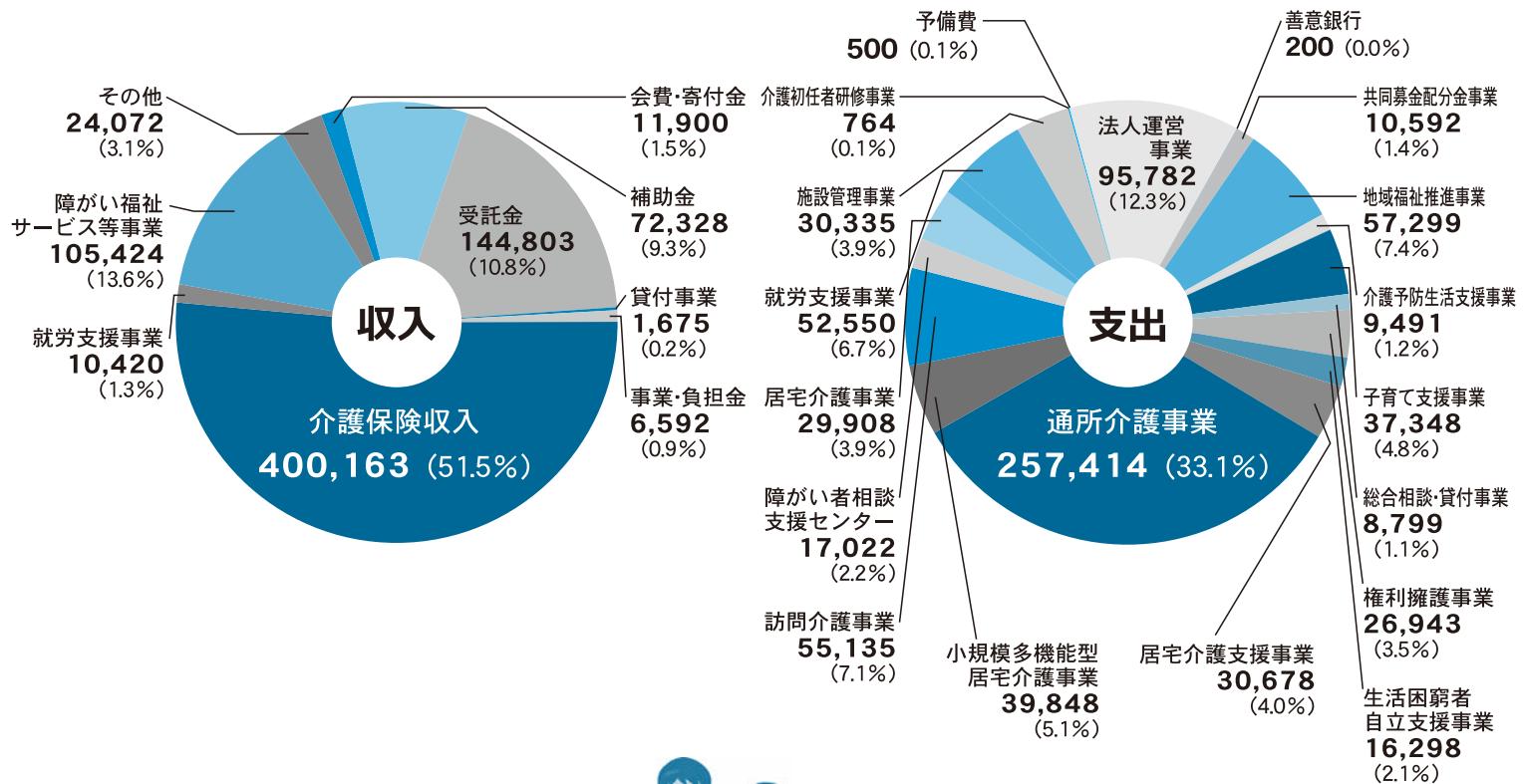
- ・ つながる仕組みを強化します

下記サイトにより詳細な計画の「本編」を閲覧できますので、ぜひご一読ください。  
米原市社会福祉協議会ホームページ <http://maibara-shakyo.or.jp/chiiki/index.htm>

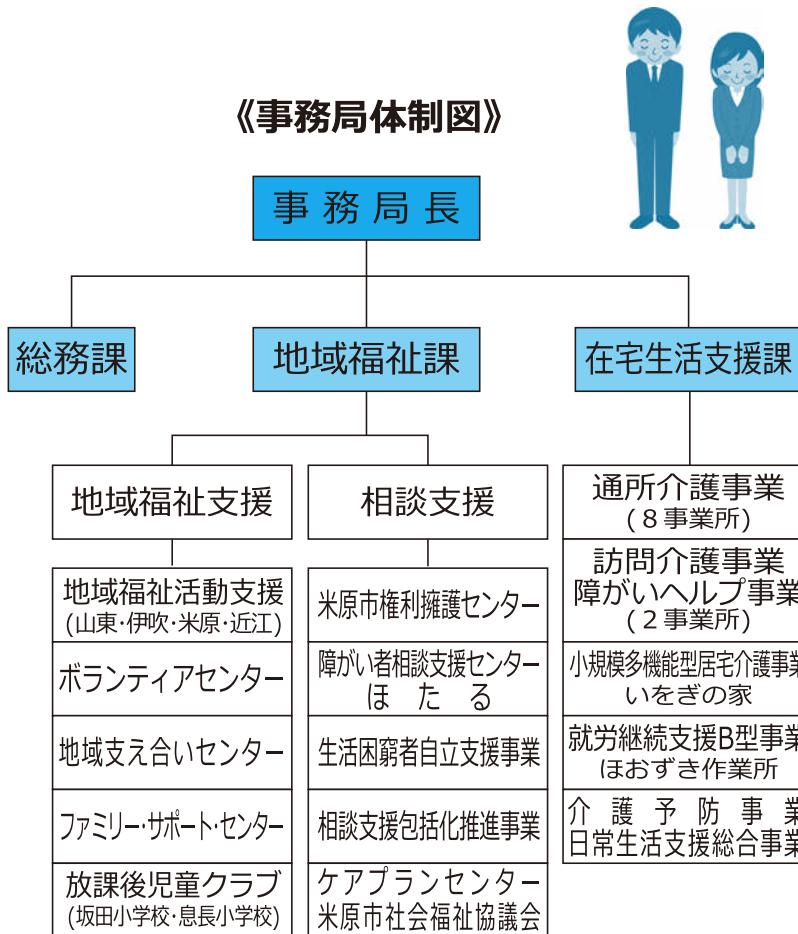
# 令和元年度 一般会計予算

収入合計 777,377千円 支出合計 776,906千円

(内訳) 単位:千円



《事務局体制図》



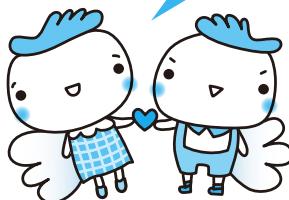
《米原市社会福祉協議会の組織》

【会員】					
一般会員：市民 特別会員：個人・団体・企業 商店・施設等					
【評議員】 29名					
【理事】 8名 【監事】 2名 (会長：1名 副会長：1名含む)					
事務局	事務局長	総務課	地域福祉課	在宅生活支援課	合計
正規職員	1	4	23	31	59
准正規職員	0	4	7	27	38
パート職員	0	3	26	83	112
合計	1	11	56	141	209

(平成31年4月1日現在)

令和元年度 社協会費にご協力お願いします。 普通会費（年額1,000円/世帯）のご協力ををお願いいたします。

社会福祉協議会は地域の皆様を会員とする、まいばらの地域福祉の推進に取り組む団体です。



米原市社会福祉協議会は、「つながりで地域の暮らしを支える」を基本方針とし、市内のすべての人が地域社会の一員として安心して自分らしく暮らし続けられる地域共生社会の実現を目指し事業を展開しています。

皆様から寄せられる会費は、市内の皆様とともに進める地域福祉を支える大切な資金となります。

一人でも多くの皆様方のご理解と温かいご協力をよろしくお願ひいたします。

皆様からいただいた会費の使いみちと会費1,000円の内訳

#### 顔の見えるつながりを深める【303円】

- 広報誌・ホームページ等による 福祉情報の提供
- 子育てサークルの育成・支援
- 遊びの広場の開催 等
- 社会福祉大会の開催
- 子育て講演会の開催



子育てサークルの育成・支援

#### 暮らしを守る活動を広げる【294円】

- 相談支援窓口の設置・運営
- 地域福祉懇談会の開催
- 福祉のまちづくり事業補助金
- 防火訪問の実施
- 福祉活動団体の支援



ふれあいサロン



防 火 訪 問

#### 助け合い、支え合うひとを育む【250円】

- ボランティア活動の推進  
(養成講座の開催・情報提供・相談・活動調整)
- 音の広報の発行
- 福祉専門職養成のための実習の受け入れ 等



音の広報の発行



見守りボランティア訪問

#### みんながつながるまちをつくる【153円】

- 地域カルテの作成と活用
- 福祉事業者合同研修会の開催
- 社会福祉法人協議会（仮称）の設置・運営 等



福祉・介護職員合同研修

#### 山東センター移転のお知らせ

4月1日より、ルッチプラザにありました山東地域福祉活動センターが旧山東生涯学習センター（きんせい）に移転しました。  
今後ともよろしくお願ひいたします。

連絡先 住所：米原市志賀谷1907番地  
電話/FAX：0749-55-3933  
(番号の変更はありません)  
メール：m-shakyo-mishima@zd.ztv.ne.jp

## 相談

### ・常時相談

社協職員が相談員として対応し、各関係機関と連絡連携し継続的に相談支援を行います。

毎週月～土曜日、午前8時30分から午後5時30分まで。

〈問合せ〉米原市社会福祉協議会本部および社協各センター

### ・心配ごと総合相談

暮らしの困りごとや悩みごとの相談を受け付けます。

相談は無料。時間はいずれも10時～12時まで（相談受付は11時まで）で、相談時間は1時間程度。

相談員は、行政相談委員・人権擁護委員・民生委員児童委員（身体障がい者相談員・知的障がい者相談員が入られる日もあります）。

〈問合せ〉米原市 くらし支援課（山東庁舎）TEL：55-8110

相談日	会場	相談日	会場
6月11日(火)	げんきステーション（下多良3丁目3）	8月 6日(火)	ゆめホール（三吉570）
6月25日(火)	愛らんど（春照56）	8月27日(火)	愛らんど（春照56）
7月 9日(火)	ルッチプラザ（長岡1050-1）	9月10日(火)	ルッチプラザ（長岡1050-1）
7月23日(火)	近江公民館（顔戸1513）	9月24日(火)	やすらぎハウス（顔戸21-2）

### ・法律相談

法律に関する相談ごとで、解決の窓口となるよう弁護士が初回の相談に応じます。事前にお申込みください。

相談日	会場	相談日	会場
6月27日(木)	やすらぎハウス（顔戸21-2）	8月22日(木)	ゆめホール（三吉570）
7月25日(木)	ルッチプラザ（長岡1050-1）	9月26日(木)	愛らんど（春照56）

1回30分以内 料金 1,000円。時間は10時～12時までの間。

〈問合せ・申込み〉米原市 くらし支援課（山東庁舎）TEL：55-8110



## 令和元年度介護職員初任者研修受講生募集 (介護の仕事に就くための入門資格です。)

**募集期間：**5月7日（火）～6月28日（金）

**受講資格：**研修の全課程を受講できる方（母性保護のため、妊娠している方はご遠慮ください。）

**受講期間：**7月5日（金）～12月6日（金）【22日間】

**受講場所：**社会福祉法人米原市社会福祉協議会（米原市三吉570番地 米原地域福祉活動センターゆめホール）

**受講料：**45,400円（米原市内在住または、在勤されている方）

55,400円（それ以外の方）

※テキスト代・消費税含む

**定員：**30名（先着順）

**申込・お問合せ：**専用申込書がありますので、まずはお問合せください。

**社会福祉法人米原市社会福祉協議会**

**伊吹地域福祉活動センター（愛らんど）**

電話 58-1770

法人本部（ゆめホール）

電話 54-3105

ホームページ<http://www.maibara-shakyo.or.jp>

## 善意銀行だより

平成31年1月16日～令和元年5月15日  
(敬称略)

### 〔金銭預託〕

匿名	3,836円
三菱ケミカル労働組合滋賀支部山東分会	115,000円
天満女性の会	3,995円
小田婦人会	4,882円
近江法曹会	28,841円
NPO法人いきいきおうみ	3,701円

### 〔物品預託〕

匿名	ディンプルマットレス・ケアスロープ
真野 修	おはぎ
天満女性の会	タオル・雑巾・古切手
おおはら農園	どろんこばたけ 白菜・大根
小田婦人会	タオル・雑巾・古切手・ティッシュカード



三菱ケミカル労働組合  
滋賀支部山東分会

※他季節のお野菜や果物をたくさん  
いただき、ありがとうございました。

・市内福祉事業所にも配分しております。



こんにちは、米原市ボランティアセンターです！  
市内で活動されるボランティアさんの声やボランティアに関する情報を皆さんにお届けしていきます!!

米原市のボランティア情報

まいボラ



## ただいま活動中！

皆さん、「芸能ボランティア」をご存じですか？

芸能ボランティアとは、自分の趣味や特技として取り組んでいる、踊りや音楽、読み聞かせや創作活動などを、地域のサロンやイベント、福祉施設等といった場で、発表して参加者の方に見て楽しんでいただけたり、一緒に歌ったり、創作したり・・・といった活動をいいます。前回に引き続き、2つの芸能ボランティアさんを紹介します！

### 米原ハーモニカクラブさん

私たち米原ハーモニカクラブは文化産業交流会館の講座の受講生が登録をして、ボランティア活動を始めました。平成17年に5名のメンバーから始まり、現在では18名まで会員が増えています。

皆さんにハーモニカの演奏を聴いていただきだけでなく一緒に歌っていただきたいので、デイサービスではお年寄りが知っておられる昔懐かしい曲を、サロンでは少し新しい曲を・・・、というように演奏する曲を工夫しています。

『演奏を聞いた方々が喜んでくださることが私たちの喜び』という思いで、毎回心を込めて演奏をしています。



### 川田清一郎オンステージ

長浜市、米原市の地域のサロンを中心にボランティアで歌謡ショーをしています。「岸壁の母」「宗右衛門町ブルース」「高校三年生」といった昔なつかしい演歌を中心に常に常に80曲の歌詞を頭に入れています。歌詞を見ずに心を込めて歌わせてもらうと「やっぱり生歌は違うわ！」「よかつたわ」といったお声をいただき、これからも高齢の方が胸をうたれる歌声をお届けしたいという思いで練習にも熱が入ります。皆さんいっしょに盛り上がるよう応援用の小道具を用意したり、衣装の早変わりをしたり・・・笑いあり涙ありのショーをこれからもお届けしていきたいと思っております。



☆ボランティアセンターには、現在39の芸能ボランティアグループさんが登録されており、地域から依頼があった場合にボランティアセンターを通じてご紹介させていただいている。ボランティアの依頼、または自分の趣味を活かしてボランティアをしてみたい！という方は随時受付していますので、お気軽にお問合せください！

### 令和元年度音訳ボランティア養成講座のお知らせ

音訳ボランティアとは、視覚に障がいのある方のために、広報紙等を読み上げ、録音するボランティアです。

あなたの声で大切な情報を届けてみませんか？



**入門編** 聞き取りやすい発声や発音、文章の読み方など

日時：7月4、11、18、25日、8月1、8、22日

すべて木曜日 午前10時から12時まで

場所：山東地域福祉活動センター

(米原市志賀谷1907)

**ステップアップ編**

パソコンのソフトを使った録音、録音したデータの編集

日時：8月29日、9月5、12、19、26日

すべて木曜日 午前10時から午後3時まで

場所：山東地域福祉活動センター

問い合わせ先：米原市ボランティアセンター

電話 55-3933

## 市内で活動されているNPO・ボランティアグループの皆さんへ

### 社会福祉法人米原市社会福祉協議会 福祉団体等活動推進補助金のご案内

市内の地域福祉活動・ボランティア活動を推進し、市内のまちづくりや、住民の社会福祉向上に貢献する活動団体・ボランティアグループ等の自主的かつ自発的な事業・活動に要する経費に対して、予算の範囲内で補助金を交付します。

#### <交付対象>

- (1) 市内全域をもって構成する団体等
- (2) 旧町単位を上位組織とする団体等
- (3) その他、本会会長が適当と認めた団体等

※ただし、本会地域福祉活動支援事業費補助金交付要綱に規定する小地域福祉委員会および自治会は対象になりません。

#### <補助金の種類と補助金額>

- (1) 団体・グループ活動補助金(5月末日申請締切)

※締切日を過ぎた場合はご相談ください。

1. 基本額	グループ所属者のボランティア活動保険加入者数 ① 2~9人 2,000円 ② 10人以上 5,000円
2. 加算額 (ボランティア活動の実施)	1回500円×活動回数 限度額：15,000円
3. 補助対象経費	限度額：7,500円

- (2) 新規事業実施補助金(6月末日申請締切)

1年目：総額30万円

2年目：総額15万円

3年目：総額10万円

毎年度3団体まで（最長3年間）

総事業費の3/4を上限とします。

### まいばらコラボチャレンジ 事業補助金のご案内

#### <目的>

地域の様々な福祉課題の解決に向けた活動を行う者同士がつながるきっかけとなり、互いの強みを活かしながら協働して取り組む福祉活動を応援することを目的としています。

#### <対象となる主体>

自治会、福祉事業所、社会福祉法人、NPO、ボランティアグループ、学校、企業、個人等、福祉活動を推進するあらゆる主体が対象となり、それぞれが協力し合う活動に対し助成します。

#### <活動補助金>

1つの活動につき年間最大50万円、3年で総額100万円を上限に助成します。

助成金額は、総活動費の3/4を上限とします。申請書提出期限は6月末日（申請後、審査があります）

#### <交付申請について>

補助金の交付を希望される団体の代表者の方は、期日までに米原市社協本部または各センターへ申請してください。※交付要綱ならびに申請に必要な書類は、米原市社協本部または各センターにてお渡しいたします。

（社協ホームページからもダウンロードできます。）

## 滋賀県レイカディア大学・第42期 学生募集！！

レイカディア大学では、高齢者の方が新しい知識や教養、技術を身につけ、地域の担い手として活躍できるよう支援する場所として、大学を開設しています。

**【対象者】 60歳以上の人で、地域の担い手としての活動を目指す方。**

**【学習内容】 「人間理解」「郷土理解」「社会参加」を学ぶ必修講座と、学科別に分かれて学ぶ「園芸」「北近江文化」「健康づくり」の選択講座があります。**

**【学習期間】 2019年10月から2021年9月までの2年間**

**【授業料】 年額50,000円。ただし、教材費、見学費等の費用は自己負担となります。**

**【受付期間】 2019年6月3日（月）から8月5日（月）まで**

募集要項と入学願書は、市役所(町役場)・社会福祉協議会の窓口、またはお近くの公民館等にあります。また、「びわこシニアネット」(<http://www.e-biwako.jp/>) からもダウンロードできます。

**《お問い合わせ先》社会福祉法人 滋賀県社会福祉協議会**

- ・滋賀県レイカディア大学米原校  
〒521-0016 米原市下多良2-137（県立文化産業交流会館内）TEL0749-52-5110
- ・滋賀県レイカディア大学草津校  
〒525-0072 草津市笠山7-8-138（県立長寿社会福祉センター内）TEL077-567-3901





## 子育てサークル紹介

今年度も、米原市で活動されている子育てサークルを紹介していきます♪

### ー 今月は「ちびーず」さんですー

わたしたち「ちびーず」は2016年7月にスタートしもうすぐ4年目に入ろうとしています。現在は短時部に上の子がいる第2子(1歳児・2歳児)の親子の集まりに自然となりました。

幼い子のいる毎日はとっても忙しく、自分のやりたいことを我慢しがちですが、もっと子育てを楽しみたいと、親子のスキンシップやリフレッシュを図る場として月に2回ほどやすらぎハウスで活動しています。こどもたちだけではなく、ママたちにとってもホットできる居場所作りを目指しています。



### 我が家のおアイドル



堤み  
蘭くん  
2歳8ヶ月  
優しく妹思いな蘭くん、大大大好き

米原市のみなさんに役立つ子育て情報をご紹介

# 大きくな~れ

### 今月のおすすめ情報

米原社協で開設している遊びの広場はご存じですか?

今年度より山東地域でも新たに遊びの広場『よいドン!!』を開設いたしました。

場所は志賀谷にある山東地域福祉活動センター（旧山東生涯学習センター）で、開催日は毎週火曜日の10時～12時です。こちらのコンセプトは**自由に走り回ることができる!!**です。大きなお部屋ですので、元気いっぱい走り回ってもOK!!のびのびと自由に親子で遊んでもらえる場所を提供しています。来場特典もありますので、ぜひ遊びにきてくださいね♪



◆詳細については下記にお問合せください。  
山東地域福祉活動センター  
☎ 55-3933

### 今月のイベント情報

#### 子育てサークル作り「こもち~ズ広場」

子育て中の親同士の交流をはかり、子育てサークル作りを行います。

日時：令和元年7月3日～8月7日までの毎週水曜日

時間：10時～12時まで ※7月31日のみ11時～13時

場所：親和農場（米原市世継1167番地）

内容：自然体験を通して、地域の人と交流します。

申し込み・問合せ先：米原市社協 山東地域福祉活動センター  
ボランティアセンター

電話：55-3933まで  
お電話ください♪

各種事業に関するお問合せ・お申し込み・ご意見は、下記の法人本部・各センターまで

#### 法人本部

米原市三吉570番地 米原地域福祉センター ゆめホール内  
TEL 54-3105 FAX 54-3115 maibarashi-shakyo@eto.eonet.ne.jp

#### 山東地域福祉活動センター

米原市志賀谷1907番地 旧山東生涯学習センター内  
TEL 55-3933 FAX 55-3933 m-shakyo-mishima@zd.ztv.ne.jp

#### 伊吹地域福祉活動センター

米原市春照56番地 伊吹健康プラザ愛らんど内  
TEL 58-1770 FAX 58-2231 m-shakyo-s.ishi@zb.ztv.ne.jp

#### 米原地域福祉活動センター

米原市三吉570番地 米原地域福祉センター ゆめホール内  
TEL 54-3110 FAX 54-3115 maibarashi-shakyo@eto.eonet.ne.jp

#### 近江地域福祉活動センター

米原市顔戸21番地2 近江地域福祉センター やすらぎハウス内  
TEL 52-1463 FAX 52-8051  
TEL 52-4393 m-shakyo-oshi@iris.eonet.ne.jp

文字が読みにくい等でお困りの方に毎号、「音の広報」として「広報てとて」をお届けします。ご利用希望の方はお気軽にお問い合わせください。  
(「音の広報」は米原市内の音訳ボランティアの方が読み上げ・録音・編集されたものです。)

